宮地元輝 Motoki Miyachi

前田将太 Shota Maeda

今回は支部を越えた仲良しコンビの登場！ともにGI初優勝が福岡という共通点がある。佐賀支部の宮地元輝選手は「BOAT★BEAT PRESS」初参戦。実力と比例して、「宮地マニア」なるファンも増加中だ。前田将太選手とともに福岡愛を語った。

interview

皆様の応援がパワーの源。お互いに優勝タイトルを獲りにいきます！

宮地元輝選手へインタビュー

ボートレーサーを目指したきっかけ

中学生の時、兄が買っていた漫画「モンキーターン」を読んで興味を持ちました。母の兄がボートレース好きで、蒲郡に初めて見に行った時に「これだ」と思いました。募集要項の身長・体重を見て「これなら自分でもなれる」と思ったことを思い出します。佐賀競馬の騎手も考えましたが、体型がガッチリしていたので難しいと思っていました。

遅咲きのイメージ

古賀繁輝（佐賀支部・94期）さんがうさぎなら、僕は亀でした。繁輝さんがデビュー期で勝率5点台と華々しかったけど、僕はコツコツやっていくしかなかった。ペラに向き合いながらコツコツやってきたことが最近、実を結んだ感じです。

初めてGIで優勝したのは2022年9月の福岡周年

夢見ていたことが実現しました。優勝戦は2周目から泣いていました。その前も後もレース中に泣くことはないです。（2コースからの）差しもあんなに上手くいくことはめったにないです。展示では重さが出て「ダメだ」と思っていたけど、レースでは最高の形になりました。生涯でSG・GIは「1度は獲りたい」と思っていたので、それが福岡で本当に良かったです。

福岡は本当に得意、成績もいい

福岡はなんだろう…。気持ちもあるけど、相性もいいみたいです。伸び型にするつもりはないですけど、伸びるんですよ。本当にエンジンが出るんです。うねりなのか、水面なのかよく分からないけど、相性はいいですね。

念願のBOAT★BEAT PRESS

あと、これだけは言わせてください。夢が1つ叶いました。福岡市内に住んでいるので、「BOAT★BEAT PRESS」はよく見ていて、「今回は西山（貴浩）さんだな…」などと羨ましく思っていました。今回、依頼があったときに「オレも載ることができた」と嬉しく思いました。

お2人へインタビュー

なぜ2人は仲がいい？

前田 期が近いのもあるでしょうね。

宮地 新鋭戦（現ルーキーシリーズ）で一緒の機会が多かったです。打ち上げも福岡・佐賀で一緒にやることがよくあり、一緒にいる機会が多いです。

前田 本当に気づいたら、という感じです。フィーリングでしょ。最終日に予定が合えば、食事に行きます。

宮地 特別、急に呼び出して会うようなことはしないです。

普段2人は何を話す？

前田 僕は基本、聞き役です。

宮地 僕も本当は聞き役ですけど、将太が聞いてくれるから話します（笑）。なんでも話しますね。特別に「ここは踏み入れてはいけない」という分野はないです。

前田 お互い何でもです。僕が宮地くんのレースが好きで、本人が否定する（反省するような）レースでも「そんなことはない。あれは勝負だから」と言ったりします。それぐらい好きです。

お互いをどう思っている？

宮地 信用できるし、信頼していますね。全般において、表裏なく付き合えます。昔ならペラだけ、仕事だけの付き合いはあったけど、将太に関しては何もないです。友達です、本当の。

前田 後輩の意見も聞いてくれます。

宮地 最近は僕が稼ぎ始めただけであって、基本、将太の方がずっと前の時期から上で活躍していましたからね。

前田 みんなが、やっと気づき始めましたね（笑）。宮地ファン、今多いでしょ。

宮地 僕はマニアと言っていますけどね。一般戦からちゃんと見ている人が、GI・SGの上のレースでどんなレースをしているか、見てくれていますからね。若くしてSGに行っているわけではないし、自分の中では手応えがある状態で来ていると感じています。下積みが長かったという事もあって、（ファンを）マニア・マニアックと呼んでましたが、もうみんなに認知されていますよね。マニアックではなくなってきました（笑）。

前田 SGのオープニングセレモニーでも圧倒的な人気。

宮地 本当にお客さんのおかげ。お客さんがいなかったら、ボートレースはやっていけないです。

ボートレース福岡に関して

前田 福岡はなんといっても見に来てくれる人が多いです。知り合いも多いです。近くで見てくれていることを感じます。

宮地 でも福岡は（ボートレース場が）3つもある。地元選手はあまり「ここ」とは言えないね（笑）。

前田 成績は3場とも、そこそこ上げているので、地元意識は強いです。1場だけの支部の人とは違うでしょうね。走る機会も分散されます。

宮地 3場あるので、福岡ばかりは語れないだろうけど、やはり（福岡は）お客さんが多いですね。僕は佐賀支部じゃないですが。もちろん、からつにはお世話になっていますし、からつに育ててもらったので、福岡で記念を獲った以上、からつでも獲らないといけないとは思いますけど。実家は神埼なので、どちらかというと福岡の方が近いです。福岡という街への憧れもあります。渡辺通に来たときは「ああ、高い建物があるな」と思いますし、その先にレース場があるので街だなと…。地元の友達からも「あの街にあるレース場で勝った」ことを嬉しく思ってもらっています。

前田 宮地くん、福岡では断然気合が入っていますからね。

宮地 佐賀支部もすごい選手がたくさんいます。でも福岡に住んでいたら、地下鉄などの広告があるし、「福岡に住んでいる」というだけでボートレースを見ている人が多いですよね。福岡は街の力があります。佐賀出身の自分からすると羨ましい部分もあります。

2人とも乗り方が合っている

宮地 お互いにタイプは違います。

前田 でも（お互いに）福岡と乗り方が合っているんでしょうね。

宮地 （水面を怖がって）3コースから2番差しの人もいますからね。（うねりへの対応は）心得ていると思います。乗るときに膝を使います。感覚としては「柔らかめのサスペンション（※）でいく」というイメージです。硬くいくと水面に対してパン！」と跳ねてしまいます。

前田 ありますね。

宮地 波の跳ね方とか見ていると、うねりがすごいときがありますね。

※自動車部品の揺れや衝撃を抑える役割をするもの

最後に2人の目標を

宮地 福岡でSGを獲りたいです。福岡はGIでも人は多いけど、やっぱりSGだと人の入りが桁違いです。特に福岡は「ボートレースの街」というイメージがあり、ボートレースをよく知っているお客さんが多い。そんな街で優勝して目立ちたいです。あと、これも大事！ 将太が（今年）12月の福岡チャンピオンカップで優勝することです。あと、2人でグランプリに出場することが目標です。

前田 僕は、長くこの世界で戦いたいです。A1級から落ちたくないです。高いレベルで戦えるのは楽しいし、ずっとチヤホヤされたいです（笑）。その流れで（SGを含めた）大きなタイトルが獲れればと思っています。獲れないとは思っていません。

選手プロフィール

福岡支部 102期 前田 将太（まえだ しょうた）

福岡県福岡市出身
1988年3月23日生まれ
●身長：168㎝ ●体重：54kg
2008年5月 BR芦屋でデビュー

これがわたしの勝負メシ
カレー
インド系やスリランカ系の方が好きです。欧風系はカロリーが高い印象があるので、どちらかといえば選択しないことが多いです。

Instagram @maeda.4504

佐賀支部 100期 宮地 元輝（みやち もとき）

佐賀県神埼市出身
1986年11月9日生まれ
●身長：169㎝ ●体重：57kg
2007年6月 BR若松でデビュー

これがわたしの勝負メシ
クレンジングジュース
コールドプレスジュース。本当に減量するときに買ってきて、2日間ぐらい断食します。それで体重を落とします。一番の勝負飯です。福岡市内に店があって、そこで購入しています。

Boat Beat Press Vol.355撮影 off shot

SGボートレースメモリアル（丸亀）での激闘を終えた翌朝、
颯爽と撮影現場にきてくださったお2人。さすが、トップレーサーの調整力半端ない!!!
スターのオーラがありすぎて、どのカットも見とれてしまうほど素敵です…。

YouTube動画
10月より公開!!
チェックしてください！

Present 読者プレゼント

いずれかのグッズが計6名様に当たる！！

宮地元輝選手・前田将太選手のサイン入り
オリジナルTシャツ 1名様
オリジナルQUOカード 5名様

応募はこちらから